

2002年4月23日 第3種郵便物認可(毎月3回5の日発行)  
2015年3月28日発行 SSKW 増刊通巻3561号



# moderato

【モデラート：中くらいの速さで(音楽用語)】

## Vol.64

### 【特集】文化創造！

～各事業所施設長・所長、  
2015年度の事業計画を語る～ …… P2-P4

■『湘南ゆうき村 デイセンター』のご紹介 …… P5

■アートスペース・エクル …… P6

■チャリティーコンサートのご報告 …… P6

■「Samu's Voice」：理事長コラム …… P7

■「ますます華麗に 節子の部屋」：西條節子さんコラム …… P7

■「あっと！」表紙解説 …… P8

特集

# 文化創造!

各事業所施設長・所長、2015年度の事業計画を語る



**倉重 達也** | 湘南あおぞら 施設長

## 入所者にHOPE (希望)を

2011年3月11日に東日本大震災があったのを受けて、その年の新年度から「湘南あおぞら事業計画」の冒頭に3年続けて以下のようなメッセージを載せています。

### HOPE (希望)

- H Heartfulness 温かい思い遣り
- O Openness 隠し隔てのない、オープンな心
- P Patience 忍耐
- E Encouragement 励まし、激励

被災者にとって、とても響く言葉だと思ったことと、福祉に従事する職員にとっても大切なことだと思ったのがその理由です。

さて、障害者施策においてサービス等利用計画の作成が義務付けられ、湘南あおぞらの利用者も既に何人が計画を立ててもらっている方がいます。ただ、「入所施設＝終の住み処」のイメージが強いのか、福祉の専門家にとっても、次の展開がなかなか描けないのが現状のようです。しかし、入所施設が決して利用者にとって最適な選択ではありませんし終の住み処でもありません。今年度は入所者にとって次の展望が開けるような年にしていきたいと思っています。



**増田 達也** | 法人事務局長

## 偏見のない社会を目指して

同窓会の名刺交換で私が福祉従事者と知り、「実は兄が障がい者なんや」「子どもがダウン症や」と耳打ちしてくれた友人が3名います。障がい者に対するイメージは、「関わりたくない」という偏見がまだ根強く、ひっそりと肩身の狭い思いをしているのだと思います。

「総合福祉法」に「障がい者に対する理解を深めるための研修・啓発」が盛り込まれていますが、まだまだ理解を深めることは難しいと思います。「障がい者の施設に、何で大事な税金を使わないといけないのか?」(40人定員、収入2億円の入所施設だと、1人・年 500万円)という「心無い」質問に対して、

皆さんなら何と答えますか?

福祉従事者は、こういう質問に対する啓発も果たさなければ、障がい者の方々の本当の笑顔は見られないのだろうと思います。

そこで、

1. 人…経験年数、年齢に関わらず、職員が、利用者のために自由な意見を言える風通しの良い組織作りと人材育成
2. 金…大切なお金を無駄にしないで、利用者のための有効な予算執行管理
3. 物…当法人を利用していない方も視野に入れ、啓蒙活動を含めた将来構想

が事務局の課題だと思っています。

また、個人的には、現場にも魅力がありますが、事務仕事にも魅力があることを伝えていくことが課題だと思っていますし、事務員希望者が増えることを願っています。



**河原 雄一** | 湘南だいち施設長 相談支援プラザ所長

## 地域をつなぐ・地域の拠点的な役割を担う

今年度から湘南だいちの施設長と引き続き相談支援プラザの所長を担うことになりました。二つの事業所の主な取り組みは次の通りです。

### 相談支援プラザ

○相談支援プラザでは、ふらっと・リート・六会いきいきサポートセンター(地域包括)の地域をつなぐ相談事業として、次の取り組みを実施します。

・法人内の専任・兼任の相談支援専門員による障害児者のサービス等利用計画作成の強化に取り組みます。

・湘南東部障害保健福祉圏域相談支援等ネットワーク形成事業(圏域ナビ)では、湘南東部圏域の相談支援・発達障害者支

援等のネットワーク形成の実践に努めます。

・相談支援の専門機関として、事業及び個々の相談委員の質を高めるよう努めます。

### 湘南だいち

○生活介護事業：いとぐるま

・2年目を迎えるにあたり、日中活動の作業種目及び利用定員の拡充を目指します。

○児童発達支援センター：ぶれっじ

・通所する利用児の十分なアセスメント(行動観察、保護者からの聴き取り)を行い、適切な支援を提供しご利用児の発達を保護者と共に支援するよう取り組みます。

・地域ニーズに対応できるよう訪問支援員の育成強化及び他事業所との勉強会の実施、相談支援の充実に取り組みます。

○短期入所事業：はんもっく

・専従コーディネーター配置し、安定した事業運営に努めます。開所して2年目のまだ若い事業所ですが、フレッシュな視点を持ち、地域の拠点としての役割を果たす所存です。



**佐藤 貢** | よし介工芸館 施設長

## 想いをカタチに ~第二章

よし介工芸館の施設長に就任して一年が経ちました。思えば、昨年3月に施設長引継ぎのためによし介工芸館を訪れた際に手狭な事務所を見て、そこで仕事をしている課長と事務員に「事務との打ち合わせ、課長との相談を密にしていきたいので、私のデスクもここに準備しておいてね!」と指示したのが始まりでした。

4月1日、出勤してくると「ああ、必死にデスクを一人分増やしたんだなあ」とわかるレイアウト。それでも置く場所がなくて積み上げられた書類。その中で新年度のスタートとなりました。「事務所狭いですね。」と感想を言うとふたりとも、あきれ

とも怒りとも言えない表情を浮かべていました。振り返るとこれがこの一年を象徴するような出来事だったような気がします。

さて、今年度の抱負ですが昨年新しく取り組んだ実践を検証し、さらにより良いものにしていく一年にしたいと考えています。昨年よし介工芸館職員の支援方針を「私たち支援者は、利用者・地域社会の人と、お互いの良さをわかり・分かち合いながら、想いをカタチにしていきます。」と確認しました。そして、これに基づいて個別支援計画書式の変更、会議・報告のやり方の検証、行事の見直し、地域行事への参加の工夫等をみんな考えてきました。実践できたものもあれば、出来なかったものもあります。今年度はひとつひとつ丁寧を検証し、定着できるものは定着させ、見直せるものは見直していく一年にしたいと考えています。

### 2015年度 藤沢育成会 組織図

施設長職

法人事務局

事務局長 増田 達也

事務局次長・副施設長(兼任) 伏見 康一

課長 石塚 和美 (ばる兼任)

湘南あおぞら

施設長 倉重 達也

梅田 忍

湘南だいち

施設長・所長(兼任) 河原 雄一

佐藤 敏彦

相談支援プラザ

寺師 京子

湘南セシリア

施設長(兼任) 植村 裕

儀保 治男

みらい社

尾上 義和

よし介工芸館

施設長 佐藤 貢

波多江 努

湘南ゆうき村

施設長 志賀 信道

土肥 章良

サービスセンター ばる

所長 小林 博

妹尾 貢

石塚 和美 (法人事務局兼任)

## 志賀 信道 | 湘南ゆうき村 施設長

### 20周年を迎えて

湘南ゆうき村は昨年10月に20年を迎えました。昨年度から20周年の年になります。20年間変わらず、ゆうき村を支えてくださっている家族・利用者さん、スタッフそして地域のみなさまに改めて感謝申し上げます。  
湘南ゆうき村では今年度全部署共通に取り組む内容として3つあげました。  
○意思決定支援と将来を見据えた支援を行っていきます。  
この2年間、重度の方の意思に着目し支援の根拠を明確にすることに力を入れてきましたが、その意思を捉えた上で将来どのように生活をしていくのかをきちんとイメージをして支援を行っていくように努めてまいります。

○業務整理・簡素化を図ります。  
20年間積み重なった業務や慣例を一度見直し、残すものを変えるものを精査して業務のスリム化を図り、利用者に向き合える時間を大切にしていきます。  
○活かせる研修を行います。  
ゆうき村内三部署で、非常勤スタッフを中心に違う部署に体験実習を行っていきます。知的障がい者や身体障がい者、高齢者、地域で暮らす方などそれぞれ支援や介助のポイントが違うので、それを体感する事で物の診方に幅が出来る事を期待して行っています。  
外部研修に派遣する職員は少し絞り、専門性を高めていきます。そして知り得た知識を事業所内で伝達研修を行い、伝える力と外部で得た知識をスタッフ全員に浸透する相乗効果を狙っていきます。  
以上の3つを柱に『誰もが楽しめるゆうき村』を目指して、今年もみんなで元気に一生懸命過ごしてまいります。

## 植村 裕 | 湘南セシリア施設長 みらい社施設長

### 安心できる暮らしと働く生きがい

2015年度から湘南セシリアとみらい社の施設長を務めさせて頂くことになりました。兼務となりますが、精一杯の尽力をさせていただきます。  
○湘南セシリア 湘南セシリアでは平成21年に異動になるまで、12年間務めさせて頂きましたので、まさに古巣に帰る気持ちです。しかし、この間制度が変わり、入所施設の状況も大きな変化がありましたので、気持ちを新たにやり直し、職責を果たしたいと思います。まずは引き継ぎを丁寧に行い、現在のサービスの低下が無いようにいたします。そして生活の基本である「安全で安心できる暮らし」を柱に生活の質、日中活動の充実、健康・医療等、様々な支援の課題を検証し、よ

りよい生活の実現を目指していきたいと思っております。そのためには職員のチームワークと職員個人の質の向上が不可欠です。自由な意見交換・話し合いのできる場と研修の機会を作っていくと考えます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。  
○みらい社 昨年度、みらい社ではみらい社の役割やあり方について、改めて基本的な事柄の話し合いを続けてきました。そこでは基本方針である「社員(利用者)が仕事を通じて社会のルールを学び社会性を養い、心身ともに豊かで、自信と誇りを持った社会人になることを支援します」に立ち返り、支援の軸として捉えていくことが確認できました。これを踏まえ、今年度は職員体制が変わりますので、就労支援体制の強化とみらい社の働く場としての機能の充実を進めていきます。そして、社員の方々と働くことの意味や働くことの生きがいについて、共に考えていきたいと思っております。新年度を迎え職員一同、気持ちを新たににより良い支援の実践を目指してまいります。

## 小林 博 | サービスセンター 所長

### インクルージョン社会

昨年4月に新しく所長として赴任し、1年が経ちました。制度的な裏付けも財政的なバックアップも皆無な中で、1998年地域生活支援の旗を高々と掲げてサービスセンターは開所しました。そして17年、歴代のスタッフたちが営々と支援とサービスを築きあげてきました。その歴史の重みと、地域生活支援センターとしての役割の重要性、そして業務の多様さをひしひしと感じる1年でした。  
サービスセンターは、我が国の地域生活支援の歩みをそのままなぞるように発展してきたわけですが、支援の質を高

め、時代を先読みしようとする先駆的実践の精神はスタッフに脈々と受け継がれています。2014年1月に障害者の権利条約が日本で発効しました。このことを重要な課題と受け止め、サービスセンターでは、権利擁護の視点に立った実践を一人一人の職員のミッションとして共有化しようと昨年1年間取り組みました。  
今年度は、この取り組みをさらに推し進め、「インクルージョン社会」を事業の理念的柱の第一に据えました。地域生活支援は、具体的には支援サービスの提供という形を取ることが多いわけですが、その根底にはどんなに重い障害を持つ人でも、社会の一員として他の人たちと同等の権利を行使できるように支援するという確固たるインクルージョンの思想が何より必要だと考えます。今年も地を這いながら、でも気宇高く空を見上げて、スタッフ一同支援に邁進したいと思います。

# 湘南ゆうき村 デイセンター

所在地 〒252-0812 藤沢市西俣野410  
TEL 0466-82-6400  
設立 1995年10月

ゆうき村のデイセンターは、高齢の方(介護保険法)、障がいのある方(障害者総合支援法)を対象とするデイサービスで、利用者は20歳代～90歳代と年齢も幅広く、個々の利用目的やニーズも様々です。皆様が地域で自立した日常生活を送れるよう、食事や入浴等の日常生活上の支援、レクリエーション、創作活動といった日中活動支援を行うとともに、他者とのコミュニケーションを通して、心身の機能維持や向上が図れるよう支援しています。

## デイサービス 一日の流れ

- 9:40 利用者の皆さんご到着
- 9:45 お茶の提供、朝の体温・血圧測定
- 10:10～ 男性：日中活動  
女性：入浴
- 11:45～ ストレッチ体操
- 12:00～ 昼食
- 12:30～13:30 昼休憩
- 13:30～ 男性：入浴  
女性：日中活動
- 15:40～ 帰りの会
- 15:45～ 利用者の皆さんご帰宅



お食事前のストレッチ体操は、昼食をより美味しく頂くため、しっかりと身体を動かします。



利用者さん、スタッフも同じテーブルで、お昼のお喋りも弾みます！



日中活動は、週替わりで様々な内容の活動を利用者の皆さんに提供しています。「紙すき上手に出来るかな？」



おはようございます！



自慢の浴室は広く、車椅子の方も安心して入浴出来るようになっています。



ゆうき温泉へようこそ！

## 敬老会



毎月月末に作成する翌月のカレンダーは毎回スタッフがアイデアを絞り、利用者の方々から好評を得ています！「カレンダー作りはいつも季節を感じます！」

毎年9月には、70歳以上の高齢者を対象とした敬老会を催しています。ゆうき村近郊からゲストを呼んで、音楽演奏やマジックなどの余興を行っていただき、またスタッフの余興も工夫を凝らしています！

# こんにちは、 アートスペース・エクルです。



「ecru」とは、生糸や未漂白の麻の色を意味する、エクリュをローマ字読みにした名称で、まっさらなキャンパスのイメージです。

開所してから、この4月では5年になります。今まで、アートに興味のある方や近隣の方々、元気な子どもたち等、いろいろな人が、店内をご覧になったりして立ち寄られています。外観からは何をやっているところなのかな？とわかりにくいかもしれませんが、店内には想いのこもった素敵なモノや絵画など彩りにあふれています。お近くにいられた際は気軽にお立ち寄りください。みなさまのご来店をお待ちしております。（よし介工芸館・大森正人）

※ 各事業所で制作した作品などの販売もしております。



はたおり製品 500～3500円位



キットバス エクル 1,000円



ポストカード 100円～



ブルーベリージャム 620円～



組み紐ブレスレット 200円



## チャリティーコンサートのご報告

2015年3月14日（土）藤沢市民会館大ホールにて、今年度の藤沢育成会チャリティーコンサートが開催されました。

「藤沢市民交響楽団と共に歩む豊かなまちづくり」と題し、当日は“ブラボー”の声も飛び、舞台と会場が一体となった素敵なコンサートでした。皆様方のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

尚、収益金は、利用者のために使わせていただきます。

チャリティーコンサート実行委員会一同



収入		
科目	金額	摘要
チケット売上金	1,852,000円	
チケット売上協力金	528,000円	藤響団他
寄付・募金等	265円	
合計	2,380,265円	

支出		
科目	金額	摘要
会場使用料	215,100円	付帯設備等
印刷費	139,644円	チラシ・ポスター等
通信費	1,148円	
謝礼等	500,000円	
花束代	6,000円	
弁当飲み物代他	35,078円	
立て看板	3,660円	
感謝状	5,000円	
雑費	19,916円	
合計	925,546円	

収益 1,454,719円

## Samu's Voice ①

社会福祉法人藤沢育成会 理事長 石川 修



### ＜合理的配慮＞

大船駅のトイレ前で白杖を持っている60代の男性と奥さん風の女性が立ちすくんでいた。特に忙しくもない私は気になって眺めていると「気を付けてね…、壁つたいにね…」と不安顔の女性。軽くうなずくが声が出ない男性。「お手伝いしましょうか？」と言うが、両者共に申し訳なさそうでいぶかしげな顔。男性の手を取り腕に絡ませようとするが、何をするかといった様子。声はやっぱり出ない。もう一度「お手伝いしましょう」というと、女性が「そうしていただくと助かります…」。しかし、視覚障害者の誘導ののっとり援助すると応じることが出来ない男性。私の身体に触れさせ壁つたいに場所に誘導するとあとは自分で用を足して帰ろうとするが、もう場所が分からない。視覚障害になってまだ時間が経っていないことが判る。しかも声を失っているようで、あいさつも手でしぐさを見せるだけ。手洗い場に案内し、外に出ると女性の不安そうな顔が明るくなった。

そう。女性が男性トイレに入るのはとても難しい。だが、日常生活までも同性介護でなければならない理由もない。ノーマライゼーションの原理に“その文化におけるノーマルな性的関係”とある。日常生活は両性の協

働によって成り立っているが、男性の場合、女性の場合がどうしてもある。男性は何らかの形で活躍していたにもかかわらず病によって障害を得た様子だった。いや、事故かも知れない。世話を受けることの“いたみ”はどれほどかと想う…。女性が人生を共にする人であれば異なった“いたみ（痛・傷・悼）”を覚えることだろう…。2人して深々と頭を下げる姿にあいさつしながら、私であれば…と想う。

障害者権利条約が発効されて結構な時間が経った。障害者虐待防止法が施行され、障害者差別解消法が施行される。しかし、障害者権利条約施行時に話題になった言葉“合理的配慮”はどれだけ社会に受け入れられたのか。法律を重ねればこれらのことは出来るのか…と思う。大辞林を見ると合理的配慮は「…社会的障壁を取り除くために行われる配慮…」とある。法律が出来ると話題になるが、法律が人間の心まで左右させることは少ない。

男女で異なる場面での配慮は法律ではなく人間の“心”“行い”。だとすれば、条約や法律では出来ないことを生み出さないと、障害者が“合理的配慮”を体感する社会は創り出せない。だから地域社会に“文化”を作りだす地道な仕事をしていかなければならない。



### ますます華麗に 節子の部屋

社会福祉法人藤沢育成会後援会「いずみ」会長 西條 節子

#### 間違ったメニュー改善しよう

かつて、“ゆりかごから墓場まで”を目標にしたイギリスを始め、ヨーロッパの国々に世界をリードした、一人一人の生涯を大切にしよう福祉国家のメニューがあった。さて、私たちはヨーロッパの国々に対して、指をくわえて眺めていいのでしょうか？

その主な改善策は？ ウーン、それは女性の政治参画をもっと高めることでしょう。2014年10月に発表された

列国議会同盟の図表を見ても分かるでしょう。つまり、福祉国家を税が高い国と片づけてしまうのは軽率でしょう。税金を一人一人が生き生きと暮らせる生涯に配分していくことをしっかり見すえ、手綱をひく女性政治家が多いこと。政治に関心が強い国々なのでしょう。女が幸せ＝男も幸せなのですよー！！

尊厳を守り、生きる一人一人をつくる。料理方法のポイントは、女性を、勇気をもって活動させることではないかな？

#### 女性の国会議員比率（下院・衆院）

日本	8.1%	ドイツ	36.5%	イギリス	22.6%
スウェーデン	43.6%	フランス	26.2%	アメリカ	18.3%
デンマーク	39.1%	カナダ	25.1%	韓国	15.7%

# 『あっと!』

## 日常の中で 見つけたアート

今号の“あっと”は、2015年2月のサービスセンターぱるの放課後等デイサービス事業所・プリズムの創作活動で実施した作品の一つです。

「編む」作業をとり入れた創作活動を行っており、担当スタッフが毎年工夫を重ねております。

今回のような形のストラップになりました。活動の内容は、1本の経糸にもう1本を輪っかにして結ぶように編んでいきます。

力加減や結び編む位置によって、いろいろな作品が出来上がります。

ギュッと絞るように結び編むとすらっとした形に仕上がりに、ゆったりと結び編んでいくとふわっとした形に仕上がります。

同じ糸と同じ手順書で行いますが、いろいろな表情を見せてくれる創作活動です。

（サービスセンターぱる・小野田 智司）

